

令和6年度 第5回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和6年7月16日（火） 19：00 開始
2. 場 所 ZoomによるWeb会議の併用
3. 出席者 理事18名中17名、監事2名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、多氣 洋平、永井 祐司、
近藤 聡史、安西 浩哉、箸本 明雄、柿田 亜矢子、埴岡 隆、
高瀬 美保、奥田 竜子、安枝 和子、久保 克敏、小野 真由美、
小林 和典、福島 雄裕、西田 美和子
(監事) 花野 信子、清水 美音子

なお、清水 美音子監事は、「報告事項 ①令和6年度予算状況について」の途中で出席したため、報告事項①以前の「第一号議案 組織改正および定款施行細則の改正の件」、「第二号議案 副本部長人事について」の決議については参加しなかった。

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名中17名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また理事以外として、坂本事務局長、吉満事務局次長、内山事務局員の出席の案内があった。

(2) 定款第38条に基づき三須 和泰代表理事が議長に選出された。

(3) Zoomでの出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

6. 審議事項

① 第一号議案 組織改正および定款施行細則の改正の件

多氣専務理事から組織改正について、箸本理事（法務・コンプライアンス推進部長）から配付されている資料に基づき定款施行細則について説明があった。なお、多氣専務理事から、前回の理事会で承認された近藤理事の常務理事就任について、本人から多忙が原因で辞退されたため、「近藤 聡史 事業本部長」に修正するとの説明があった。

箸本理事から、「事業本部長が常務理事ではないことが運営上で問題ないか。」との質問があり、多氣専務理事から、「近藤理事の状況によって再度、常務理事の就任について相談したい。」と回答があった。花野監事から、「事業本部長の長なので、業務執行理事である常務理事で無いことに違和感がある。平理事というのは、理事会で理事の業務を監督する立場と、業務をする立場に分かれるというのが前提になるが、本部長なので常務理事になって頂く方が望ましくはある。」との意見があった。

高瀬理事から、「事業本部内で久保理事とも業務を分けて近藤本部長の負担を軽減したい。」と意見があった。北野副会長から「事業本部内の理事で業務軽減のための工夫を考えてほしい。本部長については近藤理事にお願いしたい。」と意見があった。久保理事、柿田理事、安枝理事から「事業本部内で協力していきたい。」と意見があった。近藤理事から「業務過多により、常務理事の就任についてはお断りをした。当面、事業本部長として責任を持って業務にあたっていきたい。」と説明があった。

② 第二号議案 副本部長人事について

多氣専務理事から、配付されている資料に基づき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く下記の通り承認された。なお、被選定者は席上その承認を承諾した。

西田 美和子	理事	戦略統括本部	副本部長
小林 和典	理事	強化育成本部	副本部長
久保 克敏	理事	事業本部	副本部長
奥田 竜子	理事	コーポレート本部	副本部長

7. 報告事項

① 令和6年度予算状況について

福島財務総括部長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

② 戦略総括本部組織について

多氣専務理事から、配付された資料に基づき説明が行われた。

③ 強化育成本部組織について

永井強化育成本部長から、配付された資料に基づき説明が行われた。安枝理事から、「新設の医科学情報室の埴岡理事と脳しんとう事故対策について連携させてほしい」と意見があった。

④ 事業本部組織について

近藤事業本部長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

⑤ コーポレート本部組織について

安西コーポレート本部長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

⑥ 会議日程について

坂本事務局長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

⑦ 執行体制について、

多氣専務理事から、配付された資料に基づき説明が行われた。

⑧ Nations Cup について

坂本事務局長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

⑨ ATO ホテルについて

坂本事務局長から、配付された資料に基づき説明が行われた。

以上をもって議事の審議を終了し、議長は 20 時 50 分、閉会を宣言した。